

車は自分が頑張ってきた証であり、 野球選手への憧れの象徴。 車も、コーティングも、 自分のこだわりと フィーリングを大切に選びたい。

自宅に車が4台。ミニカーのコレクションは5,000台を超えるという無類のスーパーカー好きである元プロ野球選手の山崎武司さん。現役時代は「ジャイアン」などと呼ばれ、豪快な印象がありますが、車選びから自分の生き方までにおいて、強いこだわりとポリシーの持ち主。そんな山崎さんがダイヤモンドキーパーを初施工。その感想や車へのこだわりなどについてお話を伺いました。

山崎武司

TAKESHI YAMASAKI

1968年11月7日生まれ。愛知県多市出身。高校卒業後、ドラフト2位指名を受け、中日ドラゴンズへ入団。1996年に本塁打王を獲得。その後オリックス・ブルーウェーブに移籍し、2005年からは東北楽天ゴールデンイーグルスで活躍。39歳での43本塁打(本塁打・打点の二冠)、41歳での39本塁打は年齢別で最多を記録。さらに2011年、40代で通算本塁打が100本に到達する(史上2人目)。2012年に中日ドラゴンズへ移籍。2013年引退。



「本当に俺の車か?」って
素直にビックリしました

僕はものを買うとか、何かをするときは、自分なりに勉強したり、専門家に「これってどうなの?」って聞いて、納得しないとやらないタイプです。意外と研究熱心なんです、野球以外は(笑)。
ガラスコーティングは、キレイになるんだけど、ガラスの被膜にものが当たったりするとクラックが入ってパリパリになるイメージがあった。でも最近は進化していると聞いたので、フェラーリにはじめてやってみたらすごくツヤが出てとても良かったです。

今回、この車(ベンツGクラス)にコーティングをかけるのは、はじめてなんです。買ってからずっとほったらかしにしていたので、もっとそろそろ洗車しなきゃいけないかと思っていました。手洗いの泡だけでも相当キレイになるんですね。コーティングをかけたら、また一層キレイになって、ガラスだけあって本当にツヤツヤしていますね。仕上がりを見た瞬間「本当に俺の車か?」って素直にビックリしました。洗車も水洗いだけで良いんですね? もっと早くやれば良かったな(笑)。

自分のこだわりや
フィーリングを
すごく大切にしているんです

僕の車好きは子どものころから。まさにスーパーカーブームの時代だったからね。スーパーに行くたびに母親にトミカのミニカーをねだっていました。父親も車が結構好きで、普通のサラリーマンの家庭だったんですけど、しょっちゅう車を替えてましたね。今じゃフェラーリだとか何とか言っていますけど、やっぱり昔のランボルギーニですよ。ドアが上を開く、あのイメージ。僕は基本的に2シーターが好きなんです。このベンツのGクラスは嫁さんが気に入っていたし、「まあいいかあ、俺もちょっと落ち着いたしなあ」と思って買いました(笑)。

僕にとって車はファッション。だから中がきつかるうが乗りにくからうが関係ないですね。乗っててカッコいいなあとかイケてるなあとか、面白いなあとか。もう40台くらい乗り換えたかな。気に入らなかつたら買った次の日も売りますから。次の日どこか乗ってフィーリングが合わなかつたらその日の夕方には返しちゃう(笑)。そのくらい車が好きだし、自分

のこだわりやフィーリングをすごく大切にしているんです。

僕らの時代って、まず大人になったら「車の免許」だったんですね。車がなかったら女性とも付き合えなかった(笑)。今でいう携帯電話やスマホみたいなものかな? 車というアイテムがそんなに重要視されていないよね。昔はベンツなんか走っていたら「高級車にぶついたらどうしよう」なんて思ったものですが、今の若い子たちはそんなイメージがないまま育っている気がします。高級車か大衆車かよくわからない。ちょっと寂しいなって思います。

野球は、憧れの的になるスポーツで
あってほしい

車は自分が頑張ってきた証でもあるんですよね。「あんなスーパーカー乗りやがってバカじゃないのか」っていう人もいます。
僕は野球選手だったころ、サイン会や野球教室、イベントなど人の前

に出るときは、必ずスーパーカーに乗っていくんです。なぜかというと子どもがいるからです。子どもに「野球選手って、頑張ったらこんなすげえ車に乗れるんだ!」って思ってもらいたいから。

もちろん野球自体でのごさを見せることも大切です。野球教室で指導をするときも、思いつきボールを飛ばして「発ボールと見せてやる。それと同じで、野球で頑張ったらこんなすこい

